

unicef

# ユニセフと地球の子どもたち ②

http://www.unicef.or.jp

アルメニア

Republic of Armenia

治療を受けられずに  
亡くなっていた幼い子

アルメニアの男の子、ホビックくん（二歳）は、生まれて十八日目に肺炎にかかり、三十八度五分もの熱が出ました。でも、どんな病気にかかっているか見分け、どうすればいいのか、お母さんが訓練を受けていたので、すぐにお医者さんにつれて行き、治療を受けることができました。「訓練を受けていなかったら、ホビックは助からなかったかもしれない」というお母さんが、訓練について話してくれるよ。

わたしたちはアルメニアのマルツニという町に住んでいます。アルメニアは一九九一年に独立した人口約三百万人の小さな国です。独立後、社会保障（国民の生活を守るための制度）の予算、とくに保健の予算がだれもが思いもしないほどへってしまいました。そのためか、独立後は赤ちゃんの死亡率が上がり、また、地震や紛争にも苦しめられました。



この活動では、まず、子どもの命をす

## 子どもを守るため国連機関も協力 病気の応急処置など母親を訓練

九八年の国の調査で、アルメニアでは大変なことが起こっているのわかりました。肺炎で亡くなった子どもの三分の一は、亡くなる前の二十四時間以内に何も治療を受けていなか

くうために、どんな病気にかかっているかを早めにわかるようにし、すぐにどうすればいいのか、わたしたち親が理解できるような訓練をしました。親が病気について知ること、保

赤ちゃんの死亡率が高い地域でした。この状況をかえるため、マルツニでもこの訓練が行われ、わたしも参加することができました。訓練では子育てや子どもがよくかる



わたしたちが訓練を受け、子どもが病



ホビックくんとお母さん ©UNICEF/Armenia/O. Krikorian

神奈川県川崎市の  
東小倉小学校PTA

水がめ運び体験などが行われました。

い、というお母さんたちの思いがこめられています。楽しみです。

親次第で子は  
しっかり育つ

この方法で、マルツニの町で脱水症で苦しむ子どもはほとんどいなくなりました。きちんと子育てができたり、子どもが病気のときには親がすぐに病院に行ったりできれば、赤ちゃんは元気に大きくなれるのです。

子どもが一番困っている国は？

って問題もちがってくるからです。

ユニセフは、支援をするとき、五歳になる前に命をうしなう子どもたちの割合を重く見ています。たとえば日本では、

1000人のうち5歳未満で死ぬ子が100人こえる国

それは、ユニセフの人は、ユニセフの支援を必要としているという国、は、その国が、何か子どもにかかわる問題でまっているからです、国によ



この国が一番ま

それにくらべ、千人の赤ちゃんが生まれると、一年間に四人は五歳になる前に命をうしなうというデータがあります。

もっとも知りましたー

世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

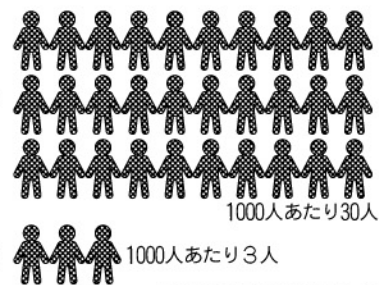
第三条【子どもにもっともよいことを】には、子どもに関係することを行う

ときには、子どもにもっともよいことは何かをまず考えなければならぬ、と述べています。

子ども、とくに赤ちゃんのころは、病



1歳の誕生日を迎えずに亡くなる赤ちゃんの割合



「世界子供白書2004」から



ユニセフ・コーナーとPTAのお母さんたち

